

(別紙5)

整理番号 2018P-056
補助事業名 平成30年度 国内スポーツ競技力向上のための事業
補助事業者名 公益財団法人松山市スポーツ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

①まつやまスポーツフォーラム

トップアスリートとのふれ合いにより、競技力の向上はもとより、世代を問わずスポーツに対する興味・関心・理解を深め、自発的なスポーツ活動につながる契機とし、次代を担う子どもたちの夢や希望の醸成に繋がることを目的とする。

②キッズスポーツプロジェクト事業

多種多様なスポーツの体験を通じ自分に合った種目を発見し、今後のスポーツ活動のきっかけづくり、子どもたちの健康な体と豊かな心の成長を促し、集団行動を通じた自主性、積極性、社会性等の習得を目的とする。

(2) 実施内容

①まつやまスポーツフォーラム

<http://m-taikyo.or.jp/publics/index/129/#page-content>

平成31年3月17日に「まつやまスポーツフォーラム2019」を開催。

北京オリンピック4×100m銀メダリスト末續慎吾氏をゲストとして招致し、平成30年度同様に、本協会の実施事業「早春ふれあいウォーク」を同日開催した。



②キッズスポーツプロジェクト事業

小学校1年から3年生までを対象に、7競技種目（サッカー、ラグビー、エアロビ、スポーツチャンバラ、体操、テニス、陸上）を1回あたり2種目、合計10回開催した。

(別紙5)



体 操



テ ニ ス

2 予想される事業実施効果

①まつやまスポーツフォーラム

選手個々のレベルアップ・指導方法の改善等に起因した競技力の向上のほか、市民スポーツのスポーツに対する理解が深まる。また、興味・関心度の向上も図られ、愛媛国体終了後のスポーツとの向き合い方を考える契機ともなり、各種目や地域におけるスポーツの発展に寄与する。

②キッズスポーツプロジェクト事業

色々な種目のキッズスポーツを体験することにより、体を動かす楽しさや、運動能力や反射等の発達を促進し、ケガをしにくい体づくりを目指しながら、自分に合った種目を発見し、今後のスポーツ活動のきっかけになる。また、礼儀作法やマナーなど社会性の習得、集団行動での自主性・積極性を伸ばし、健康な体と強く豊かな心を育み、トップアスリートを生み出すきっかけとなることが期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①まつやまスポーツフォーラム2019プログラム

<http://m-taikyo.or.jp/publics/index/129/#page-content>

MEMO

KEIRIN
00

このプログラムは、競輪の補助により作成しました。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

公益財団法人松山市スポーツ協会

まつやまスポーツフォーラム 2019

『末續慎吾』氏のわくわくトーク&健康ウォーク

主催：(公財)松山市スポーツ協会



© Karumi Ogata

◆日 時 平成31年3月17日(日)

9:00~12:00

◆会 場 松山中央公園 屋内運動場
(松山市市坪西町)

◆ゲスト 末續 慎吾さん◆

(北京オリンピック 4×100mリレー 銀メダリスト)

1. 開 会 (公財)松山市スポーツ協会 会長 開 忠和
2. 挨拶 (公財)松山市スポーツ協会 会長 開 忠和
3. トークショー
“好きを貫いて生きる素晴らしさ!”
【ゲスト】末續 慎吾さん
【司会進行】藤田 勇次郎さん (南海放送アナウンサー)
4. 健康ウォーク
5. 閉 会

協賛 ANA 愛媛FC 愛媛マンダリンパイレーツ
愛媛オレンジバイキングス 東京ヤクルトスワローズ
マナベスポーツ ワケスポーツ松山店 ワイニング

プロフィール

末續 慎吾 (すえつぐしんご)

1980年6月2日生まれ、熊本県出身。九州学院高校から東海大学、ミズノ、熊本陸上競技協会を経て、現在は、自身のチームEAGLERUN所属。原健大学特任准教授も兼任。

五輪は2000年シドニー、04年アテネ、08年北京と3大会連続出場。世界選手権は、01年から07年まで4大会連続で経験した。2003年パリ世界選手権の男子200メートルで銅メダルを獲得し、五輪・世界選手権を通じて短距離種目で日本人初のメダリストとなる。更に2008年北京五輪で、4×100mリレー男子トラック種目で日本史上初の五輪銅メダルを獲得。2008年、熊本県民栄誉賞受賞。2017年6月、200メートルで、9年ぶりに日本選手権に出場。自己記録は100メートルが10秒03 (日本歴代4位)、200メートルは20秒03 (日本記録)



© Takashi Mochizuki

主な戦績：

- (オリンピック)
- 2008年北京大会200m出場/4×100mリレー・2位 (銀メダル)
- 2004年アテネ大会100m出場/4×100mリレー・4位
- 2000年シドニー大会200m出場/4×100mリレー・6位 (世界陸上)
- 2005年ヘルシンキ大会200m出場/4×100mリレー・8位
- 2003年パリ大会200m・3位 (銅メダル)
- 2001年エドモントン大会200m準決勝出場/4×100mリレー・5位 (アジア大会)
- 2006年ドーハ大会200m決勝/4×100mリレー・2位
- 2002年釜山大会200m決勝

末續慎吾は、2017年6月開催の日本選手権に9年ぶりに復活しました。走る直前、トラックに足を踏み入れた瞬間、会場から溢れんばかりの声援と拍手がスタジアムから沸き起こり、これまでの彼の競技人生で味わった事のない初めての無量の賞賛を受け、自身の「走るということ」への探求の中で、新たな深い意味を再認識させられました。

本来の「走り」とは無制限の可能性がある世界です。だから「勝らなければ」だけでなく、スポーツは生きることの表現の場でもあり、人生における必要な気づきを多くの人たちとダイレクトに共有しあえる大切な場でもあります。走り続けてきた末續慎吾が、これから伝えていくのは、生涯現役を実現しながら、共に体感していく新たな「EAGLERUN」の世界です。「EAGLERUN」は、「イーグルのように空を自由に飛び回るような制限のない走り」という意味が込められた、「走る事」における「自由を表現した」末續慎吾が世界に伝えていきたい精神・世界観であり、自身のRUNの哲学です。末續慎吾は、現役プロアスリートとして、チャンピオンシップスポーツへの挑戦を続けながらマスターズや陸・海・様々な都市などの競技場以外の様々な場所でこれまでの枠組みを取り払った制限のない新しい世界観で陸上教室やスポーツイベントを展開しています。プロ・アマ・性別・世代問わず若者男女誰もが関わることのできる一番身近なスポーツである「KAKEKKEKO」に、多くの人たちと末續自身が共に触れ、そこから生きる喜びを体感していく、そんな新たな世界を提案しながら走り続け、世の中にリアルに末續慎吾だから知る「KAKEKKEKO(かけっこ)」の魅力を日本全国のひとたちと 触れ合いながら走り合いながら「好きを貫いて生きる素晴らしさ」やスポーツを通じた人生の楽しみ方を伝えていきます。

<EAGLERUNに関する問い合わせ先>
EAGLERUN 運営チームへ： <http://eaglerun.jp/>
末續慎吾公式ブログ： <https://ameblo.jp/eaglerun>
公式インスタグラム： <https://www.instagram.com/suetagakiingo/>
公式ツイッター： <https://twitter.com/suetagakiingo>

(2) (1) 以外で当事業において作成したものなし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 松山市スポーツ協会（マツヤマシスポーツキョウカイ）

住 所： 〒790-0948

愛媛県松山市市坪西町625-1 坊っちゃんスタジアム内

代 表 者： 会長 開 忠和（ヒラキ タダカズ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 主事 嶋本 憲二（シマモト ケンジ）

電 話 番 号： 089-968-6660

F A X： 089-968-7770

E - m a i l： m-taikyo@fine.ocn.ne.jp

U R L： <http://m-taikyo.or.jp/>